

日本知財学会第8回年次学術研究発表会 一般発表のご案内(発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者)  
2010年6月19日(土)

※会場地図は後頁をご確認ください

| 場所    | 大ホール  | 30201  | 30213  | 30212   | 30211  | 30202   | 30303   | 30311   | 30312  | 30313  |
|-------|---|--|--|---|--|---|---|---|--|--|
| 座長    | 星野 豊  | 木村 友久  | 的場 成夫  | 松縄 正登   | 城所 岩生  | 西村 由希子  | 田中 秀穂   | 野崎 篤志   | 加藤 浩   | 香坂 玲   |
| カテゴリー | 知財人材育成・知財教育   | 知財人材育成・知財教育  | 学生発表   | 知財制度論   | 著作権、コンテンツマネジメント  | 産学連携及び新規事業  | 知財・技術情報の戦略的活用と管理  | 知財・技術情報の戦略的活用と管理  | 先端技術・国際標準  | 知財に関する国際問題   |
| 16:10 | 1A1<br>陳 愛華<br>重慶大学<br>知識経済化時代における知財人材の確保——中国企業の事例を通して<br>岡田廣司、松岡守、世良清、紀曉麗                                    | 1B1<br>古谷 浩伸<br>福岡県立小倉工業高等学校<br>工業高校における知的財産教育推進の一方途                                   | 1C1<br>原 孝英<br>東京都職員<br>中小製造業のグローバル展開に向けた知的財産戦略                                      | 1D1<br>涌井 謙一<br>日本弁理士会中央知的財産研究所<br>日本弁理士会中央知的財産研究所での研究成果の報告—特許法第104条の3に関する研究—         | 1E1<インテンシブ><br>井出 明<br>首都大学東京<br>コンテンツ誘発型ツーリズムの現状と問題点                        | 1F1<br>渋谷 善弘<br>独立行政法人工業所有権情報・研修館<br>公的資金が投入されたコンソーシアムにおける課題と知財プロデューサーの必要性<br>鮫島正洋    | 1G1<br>大塚 篤<br>岡山大学大学院 社会文化科学研究科<br>特許出願情報を用いた発明者ネットワーク分析<br>渡部俊也                               | 1H1<br>早乙女 周子<br>京都大学大学院医学研究科<br>ライフサイエンス分野における研究マテリアルアクセスに関する調査研究                | 1I1  | 1J1  |
| 16:30 | 1A2<br>鈴木 禎嗣<br>日本技術貿易株式会社IP総研<br>BRICsおよび新興国における知財教育の現状  | 1B2<br>松原 幸夫<br>新潟大学社会連携研究センター<br>学習者中心創造教育事例紹介「明日の日本を考える」(於都立両国高校付属中学校)               | 1C2<br>長崎 一生<br>東京海洋大学大学院海洋管理政策学専攻<br>地域団体商標登録の効果に関する研究-水産業を例に-<br>妻小波、中村宏           | 1D2<br>北岡 弘章<br>日本弁理士会ソフトウェア委員会<br>ソフトウェア関連発明の成立性に関する知財高裁判決の傾向と審査実務に与える影響             | 1E2<br>隅蔵 康一<br>政策研究大学院大学<br>公的研究はどのように活用されているか〜3つの実証分析が示唆するもの<br>齋藤裕美       | 1F2<インテンシブ><br>隅蔵 康一<br>政策研究大学院大学<br>公的研究はどのように活用されているか〜3つの実証分析が示唆するもの<br>齋藤裕美        | 1G2<br>柴田 洋輔<br>東京工業大学イノベーションマネジメント研究科<br>材料技術のイノベーションに向けた知財マネジメントモデル<br>佐伯とも子                  | 1H2<br>飯野 由里江<br>九州大学大学院システム情報科学府<br>特許情報を用いた研究開発組織の可視化によるイノベーション促進状況の分析<br>廣川佐千男 | 1I2<br>飯田 香緒里<br>国立大学法人東京医科歯科大学<br>日米MTA管理の比較と考察<br>塩谷克彦                   | 1J2<br>隅田 浩司<br>東京富士大学大学院准教授<br>非係争条項と競争法上の評価  |
| 16:50 | 1A3<br>谷口 恵<br>大連軟件園股份有限公司<br>中国における日本語人材向けの知財学習テキスト開発について—大連での実践報告<br>世良清                                    | 1B3<br>籠原 裕明<br>全国知的財産・創造教育研究会<br>変化の時代に求められる知的財産教育とは                                  | 1C3<br>武山 哲也<br>日本大学大学院知的財産研究科<br>標準化と特許の一考察<br>加藤浩                                  | 1D3<br>瀬川 友史<br>東京大学・株式会社三菱総合研究所<br>英・独におけるライセンス・オブ・ライト制度の利用実態と我が国への示唆<br>小林徹、渡部俊也    | 1E3<br>竹原 懋<br>日本弁理士会 著作権委員会<br>映画の著作物に関する著作権の保護期間                           | 1F3<br>声田 望美<br>三好内外国特許事務所<br>テクノロジーブランド(技術ブランド)に関連する裁判例の考察<br>杉光一成、上條由紀子             | 1G3<br>青山 紘一<br>帝京大学法学部<br>知財国家戦略の検証<br>佐藤奈緒美、内藤貴大、早野暁史   | 1H3<br>鈴木 睦昭<br>国立遺伝学研究所<br>マテリアルとデータの円滑な共有・活用に関する知的財産マネジメント方法に関する考察<br>瀬川喜美子     | 1I3<インテンシブ>  | 1J3<br>鈴木 信也<br>沖電気工業株式会社<br>米国特許における均等論の変遷と今後の在り方についての考察  |
| 17:10 | 1A4<br>塩谷 克彦<br>国立大学法人東北大学知的財産部<br>明細書作成技術の伝承における支援ツールの活用<br>出口隆信、高島竜彦  | 1B4<br>齋藤 保男<br>東京工芸大学<br>芸術系大学における知財マネジメント構築への取り組み〜「メディアコンテンツ研究センター」を中心に〜<br>平山敬二、大島武 | 1C4<br>梅津 薫<br>東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻<br>企業博物館におけるブランディングに関する研究<br>加藤浩      | 1D4<br>土屋 雄大<br>青山学院大学法学研究科附置ビジネスローセンター研究員<br>損害賠償における実施料相当額の算定と判例法理—実施能力からみる「相互適合性」— | 1E4<br>西正 稔<br>株式会社ベルシステム24<br>著作権者人格権と職務著作—ときめきメモリアル事件判決が残した課題              | 1F4<br>齋藤 裕美<br>政策研究大学院大学<br>公的研究の活用におけるパブリックベンチャーと大手製薬企業の違い〜発明者アンケートに基づく実証分析<br>隅蔵康一 | 1G4<br>狩野 幹人<br>三重大学知的財産統括室<br>大学のバイオ系知的財産による地域イノベーションの活性化—フランダースにおける調査研究—<br>Lieve Ongena、西村訓弘 | 1H4<br>藤野 仁三<br>東京理科大学<br>「先進国の経済成長率と特許出願件数の相関について」                               | 1I4  | 1J4<br>平塚 三好<br>東京理科大学専門職大学院知的財産戦略専攻MIP<br>ドイツ連邦共和国におけるコンピュータ・ソフトウェア関連およびビジネス分野等における保護の在り方に関する調査研究 |
| 休憩    |   |  |  |   |  |   |   |   |  |  |
| 場所    | 大ホール  | 30201  | 30213  | 30212   | 30211  | 30202   | 30303   | 30311   | 30312  | 30313  |
| 座長    | 松原 幸夫   | 籠原 裕明  | 目黒 良門  | 小林 徹  | 井出 明   | 元橋 一之   | 大林 守  | 犬塚 篤  | 藤野 仁三  | 平塚 三好  |
| カテゴリー | 知財人材育成・知財教育   | 知財人材育成・知財教育  | 学生発表   | 知財制度論   | 著作権、コンテンツマネジメント  | 産学連携及び新規事業  | 知財・技術情報の戦略的活用と管理  | 知財・技術情報の戦略的活用と管理  | 知財会計・評価と経営問題   | 知財に関する国際問題   |
| 17:40 | 1A5<br>星野 正則<br>神奈川県庁<br>中小企業の知財を巡る現状と課題<br>加藤浩一郎   | 1B5<br>木村 友久<br>山口大学 大学院技術経営研究科<br>知財教育実践紹介と学習の阻害箇所に関する若干の考察                           | 1C5<br>貴島 康二<br>東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻<br>標準化戦略における、オープンとクローズドの使い分け<br>田中義敏 | 1D5<br>高木 進<br>日本弁理士会<br>特許明細書等の補正に関する「除くクレーム」について—請求項一発明」との観点からの考察                   | 1E5<br>鈴木 香織<br>一橋大学国際企業戦略研究科・株式会社スズキアンドアソシエイツ<br>キャラクターの創作に影響する制約に関する考察     | 1F5<br>隅蔵 康一<br>政策研究大学院大学<br>産学連携を担う知的財産人材の現状<br>西村由希子                                | 1G5<br>田中 秀穂<br>芝浦工業大学工学マネジメント研究科、京都大学医学研究科<br>ハイテクベンチャーにおける知的資産の調達と活用<br>永岡清秀、稲村雄大             | 1H5<br>北田 透<br>国土交通省 住宅局 建築指導課<br>経済学的考察による現行特許制度が発明活動に与える影響について                  | 1I5<br>永井 武<br>アドバンスビジネス株式会社<br>中小・ベンチャー企業と大企業の提携について                      | 1J5<br>香坂 玲<br>名古屋市立大学大学院経済学研究科<br>生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の論点:農業・林業と知的財産の分野を中心に<br>本田悠介            |
| 18:00 | 1A6<br>久野 敦司<br>SMIPS特許戦略工学分科会<br>発明の本質抽出能力の鍛錬と試験の方法  | 1B6<br>小出 篤史<br>筑波大学大学院 システム情報工学研究科<br>知的財産における情報モラル教育に関する一考察<br>星野豊                   | 1C6<br>董 佐夫<br>東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科知的財産戦略専攻<br>特許審判における無効審判と訂正審判の課題<br>田中義敏     | 1D6<br>松縄 正登<br>筑波大学大学院図書館情報メディア研究科<br>特許審判における無効審判と訂正審判の課題                           | 1E6<インテンシブ><br>城所 岩生<br>国際大学グローバル・コミュニケーション・センター<br>グーグルの著作権戦争—日本版フェアユースへの示唆 | 1F6<br>西村 由希子<br>東京大学先端科学技術研究センター<br>日本における技術移転機関の産学連携関連活動に関するパフォーマンス分析<br>仙石慎太郎      | 1G6<br>永岡 清秀<br>京都大学医学研究科<br>事業領域間差異に着目したハイテクベンチャーの知的資産の調達と活用に関する研究<br>稲村雄大、田中秀穂                | 1H6<br>小出 実<br>株式会社 オプトクリエーション<br>特許情報による共同研究開発の組織同形化に関する知識創造の技術軌道分析<br>塚越雅信、安井康二 | 1I6<br>鮫島 正洋<br>内田・鮫島法律事務所<br>横浜市における知的財産戦略の進展と成果について                      | 1J6<br>加藤 浩<br>日本大学 大学院知的財産研究科<br>生物多様性条約と知財政策の調和に向けた一考察   |
| 18:20 | 1A7<br>伊澤 久美<br>特定非営利活動法人産学連携推進機構<br>「事業戦略と知財マネジメント」に関する学習材の開発〜経営学部生向け知財マネジメント啓蒙を進展させる第一歩〜<br>金尾良子、妹尾堅一郎、北村士朗 | 1B7<br>星野 豊<br>筑波大学大学院人文社会科学部<br>知財専門家に対する基本法学教育の諸問題                                   | 1C7<br>山口 裕達<br>東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻<br>M&Aによる技術流出に関する一考察<br>平塚三好         | 1D7<br>吉田 哲<br>奈良先端科学技術大学院大学 産官学連携推進本部<br>特許制度論、特許制度で保護すべき発明について特許期間からの考察<br>久保浩三     | 1E7  | 1F7<br>高田 仁<br>九州大学大学院経済学研究院(ビジネス・スクール)<br>技術の商業化を担う人材育成手法に関する考察                      | 1G7<br>加藤 直規<br>広島市立大学<br>特許からみたベンチャー企業の技術開発  | 1H7<br>野崎 篤志<br>元 金沢工業大学院 ビジネスアーキテクト専攻<br>R&D組織におけるコミュニケーション活性化と研究開発レベルの関係について    | 1I7<br>土生 哲也<br>土生特許事務所<br>中小企業における知財戦略支援の定着について〜定着理論を探る<br>鮫島正洋、塚越雅信、佐原雅史 | 1J7<br>鈴木 睦昭<br>国立遺伝学研究所<br>生物多様性条約に関する、アクセスと利益配分の課題について—アカデミアからみた考察—                              |
| 18:40 | 懇親会   |  |  |   |  |   |   |   |  |  |
| 19:00 | 懇親会   |  |  |   |  |   |   |   |  |  |